

共施設の性質ごとに行政が主体で設置しなければならぬもの、PFI(民間資金を活用した公共施設の建設や維持管理)など民間のノウハウを導入すべきもの等の区分が必要ではないか。

市長 PFI、指定管理者制度、民間委託など様々な政策の選択と組み合わせが可能の中で、民間事業者の創意工夫、専門技術等を活用し、支払いに対して最も価値の高いサービスを市民に供給する仕組みをつくりだしていくことが重要だ。

議員 日本のPFIは施設整備費を割賦払いしているにすぎない。世界のPFI

はリスク移転型やサービス購入型というモデルが標準的である。これは、行政が民間から施設自体を購入するのではなく、民間の「施設提供サービスを購入」する仕組みだ。リスク移転型のPFIに対して三鷹市はどう取り組むべきか聞く。

市長 バリユー・フォー・マネーの最大化による市民サービスの向上には、公・民のパートナーシップ構築の取り組みが不可欠だ。民間事業者等との対話とパートナーシップによってこそより市民満足度を高めるPFIやアウトソーシングが実現できると考えている。

サステナブル都市を推進し 市民満足度の向上を図れ



政新クラブ 伊東 光則 議員

議員 本市は平成19年12月に日本経済新聞社が公表した「持続可能な都市・サステナブル都市」のランキング調査において総合評価全国第一位に選ばれた。この評価について所見を伺う。

市長 これまで進めてきた高環境・高福祉を目指す取り組みが評価された。この評価が実感を伴うものになるようさらに努力したい。

議員 サステナブル度調査は「環境」「経済・財政」「暮らし」のバランスのとれた都市を選ぶのが狙いで、本市は、「環境保全度第一位」「経済豊かさ度第27位」「社会安定度第20位」にランキングされた。3つの分野の評価について所見を聞く。

企画部長 それぞれの評価は真しに受け止め、高環境はリスク移転型やサービス購入型というモデルが標準的である。これは、行政が民間から施設自体を購入するのではなく、民間の「施設提供サービスを購入」する仕組みだ。リスク移転型のPFIに対して三鷹市はどう取り組むべきか聞く。

分かりやすい用語使用や 活字の大きさに工夫を



政新クラブ 土屋 健一 議員

議員 急速な時代の変化に伴って、様々な専門用語、外来語、略語などが身の回りに増えている。市が作成する文書は、高齢者や中学生にも分かりやすい用語の使用に努めてほしい。

市長 公文書や広報紙については、平易で簡潔な文章とするよう対応している。市民向けのパンフレット等も、専門用語等について言い換えや注釈をつけるなどさらに工夫をしていく。

議員 市内で仕事や生活をする外国人に向け、防災情報等を正確に提供する必要があるので、様々な言語を使用する外国人籍の市民等にも分かりやすい日本語を使用するなど配慮をしてほしい。

企画部長 外国語版の市民便利帳や広報等を発行して

いる。情報バリアフリーの観点からやさしい日本語の使用にも留意していく。

議員 高齢社会に対応するため、目に優しい文字の活用が求められている。発行物の文字拡大等について市の努力や学校・住民協議会・町会等の協力が要だ。

議員 市内で仕事や生活をする外国人に向け、防災情報等を正確に提供する必要があるので、様々な言語を使用する外国人籍の市民等にも分かりやすい日本語を使用するなど配慮をしてほしい。

三鷹台のまちづくりは 地域と商店街の協働で



政新クラブ 加藤 浩司 議員

議員 三鷹台駅前通りを中心としたまちづくりは住民の長年の夢だ。市は住民の要望を受け、三鷹台駅前通りの歩道設置に係る緊急整備方針を策定し、整備を進めている。整備を行う三鷹台駅前通りの道路幅員は12メートルの計画だ。しかし、一部区間は都市計画道路として計画決定され、計画幅員が16メートルに設定されており、この矛盾が整備を妨げている。市は東京都と協議の上、都市計画変更により幅員を12メートルにする方針だ。状況を聞く。

都市整備部調整担当部長 都と協議し、交通量調査等行っている。方針を明確にし、計画変更を促進したい。

議員 都市計画変更が行われることで計画線内から線外になる住民も出てくる。都市計画の事業決定後に土地の売却等を考えていた住

民への対応を聞く。

都市整備部調整担当部長

まちづくりの趣旨を理解し、整備に協力してもらえよう丁寧に対応したい。

議員 歩道整備による用地買収で店舗の建て替えや商業の継続が困難になる住民への対応が重要だ。①店舗建て替え時に固定資産税を減免する制度を検討できないか②代替店舗への誘導など具体的な対応が明示されれば整備も進む。代替店舗が入居でき、市民の交流スペース等を設けた協同ビル化事業など検討してほしい。

市長 ①検討したい。

都市整備部調整担当部長 ②検討していきたい。

新型インフルエンザ 一刻も早い対策を



政新クラブ 渥美 典尚 議員

議員 近年、鳥インフルエンザが原因とされる新型インフルエンザの発生と世界的な大流行への警戒感が高まっている。仮に発生した場合、短期間で広範囲に感染が拡大し、重大な健康被害がもたらされると想定される。危機管理の問題として、今から対策を考えるべきだ。発生時の対応を聞く。

市長 総合対策本部を設置して、全庁的な取り組みを行うことが必要と考える。

議員 発生に備えて国や東京都は対策を進めている。これらと連携した取り組みが必要だ。所見を聞く。

市長 国の行動計画や都の対応マニュアル等を通じて十分な連携を図り、一体的に対応を行っていく。

議員 近隣自治体との連携

議員 顔の見える農業として地産地消の取り組みを進める。都市農地の生産緑地の

ため、三鷹市内の生産緑地の

ため、三鷹市内の生産緑地の

ため、三鷹市内の生産緑地の

ため、三鷹市内の生産緑地の

ため、三鷹市内の生産緑地の

ため、三鷹市内の生産緑地の

ため、三鷹市内の生産緑地の

ため、三鷹市内の生産緑地の

ため、三鷹市内の生産緑地の

ため、三鷹市内の生産緑地の

ため、三鷹市内の生産緑地の

教育基本法の理念の 周知を図れ



政新クラブ 加藤 久平 議員

議員 改正された教育基本法は、公共の精神の尊重、伝統の継承、豊かな情操と道徳心を培うこと、我が国と郷土を愛すること等が新たに規定され、実に感動的だ。改正の内容について、教育長の見解を伺う。

教育長 これまでの理念に加えて、公共の精神の尊重、豊かな人間性と創造性、伝統の継承等が規定された。社会全体で教育改革を強力に推進できると考える。

議員 新しい教育基本法の理念や目標を市民に周知するため、教員や地域に向け

改善を国や都に要請せよ。

市長 今後も各関係団体と連携をとりながら、国や都に対して問題提起や制度などの改善提案・要請を行っていききたい。

議員 地産地消のさらなる推進が必要である。学校給食での市内産野菜の使用など地産地消と食育の推進について所見を伺う。

教育長 市内産野菜の給食での使用を拡大するとともに、総合的な学習などで食育の取り組みを強めたい。

議員 三鷹市教育ビジョンは、次代を担う子どもたちの人間力・社会力を地域の総合力で培っていく取り組みとして全国に誇れるものである。今後は、小・中一貫教育校の特徴を生かし、9年間を通したキャリア教育のさらなる推進が必要だと考える。所見を伺う。

教育部長 引き続き、地域の商店街や企業などと連携を深めた実践的なプログラムの作成などを検討していきたい。



地産地消の拠点となっている
三鷹緑化センター

議員 財源確保の観点から

も企業誘致は必要だ。条例

を整備するなど三鷹の特性

や立地条件を生かしたさら

なる都市の魅力アップ策を

検討せよ。

市長 三鷹市のブランド力

の向上や市全体の活性化の

ために、企業進出の可能性

などを検討していきたい。

議員 三鷹市教育ビジョ

ン、次代を担う子どもたち

の人間力・社会力を地域の

総合力で培っていく取り組

みとして全国に誇れるもの

である。今後は、小・中一

貫教育校の特徴を生かし、

9年間を通したキャリア教

育のさらなる推進が必要だ

と考える。所見を伺う。

教育部長 引き続き、地

域の商店街や企業などと連

携を深めた実践的なプログ

ラムの作成などを検討してい

きたい。